

(案)

## 稲沢市一般廃棄物処理基本計画(案)に対するパブリックコメント結果について

- 1 募集期間 令和7年11月27日(木)～12月26日(金)
- 2 意見提出者数 3人(内訳 ホームページ2件、電子メール1件)
- 3 意見件数 15件
- 4 提出されたご意見の要旨と市の考え方

(ご意見は、趣旨等を損なわないように要約・補足等をしております。)

No.	頁	市民から寄せられた意見	市の考え方
1	11	注釈にて2026年度からプラスチック製品との一括回収を予定していますとありますが、いつ頃、市民に周知し、いつからの導入を予定していますか。	令和8年度になりましたら広報等を活用し周知を行い、支所・市民センター地区ごとに説明会を実施する予定です。 プラスチック製品の一括回収の開始時期は令和9年2月からを予定しております。
2	12	稲沢市HP内の“ペットボトルのリサイクルの流れ”に、中間処理(圧縮固縛)の工程も追加した方がよいと思います。	HPでの追記について検討いたします。
3	17	剪定枝の持ち込みの制限が厳しい(長さや太さなど)ため個人では対応が難しい。	一定の長さや太さ(厚さ)を超えたものは、市の施設で処理することができないため制限を設けております。ご理解いただきますようお願いします。
4	21	2019年5月に発生した粗大ごみ処理施設の火災事故について、火災事故の教訓が風化していくことがないよう、繰り返し市民への注意喚起をお願いします。	現在、モバイルバッテリー等によるリチウムイオン電池使用製品の発火の危険性について、全国的に報道がされております。 処理施設の火災は、収集やごみの受入・処理業務の停止、施設の修繕料の支出等、市民の皆様の生活に大きな影響がありますので、火災事故の発生を防ぐため、発火性危険物の廃棄方法について定期的に周知いたします。

No.	頁	市民から寄せられた意見	市の考え方
5	25	今後のごみ処理の有料化のことを考えると、今からごみの量と共に、ごみ処理経費(総額や1人当たり処理費用)を広報などで公表していくことが重要だと思います。	ごみ処理の有料化については未定ですが、処理経費の公表につきましては、いただいたご意見を参考に検討いたします。
6	28	子ども用品リユース事業は「子育て・教育は稻沢で！」の趣旨に沿っており、とても良い活動であると思う。 「教育」面でも何か出来ると良いと思う。	教育面では、児童・生徒にごみ減量やリデュース・リユース・リサイクルに対し興味・関心を持つもらうことが大切だと考えております。 例えば、環境センターでは市内小学校等の見学を受け入れており、ごみ排出量を減らす必要性及び環境に対する取組について説明しています。 今後も教育に活かすことができるような取組について考えてまいります。
7	29	事業者と連携したリユースの推進において、2023年11月に「おいくら」との連携を開始しました。他自治体でも導入実績のある別の事業者との連携も検討してください。リユースの選択肢が多い方が市民の利便性が向上します。	いただいたご意見を参考に検討いたします。
8	33	ごみの減量化の推進及びリサイクル率の向上について、「混ざればゴミで処理にお金がかかる。分ければ資源でお金になる。」ということや、「ごみ処理費用が年額11億円発生していること。地域のリサイクルに出せば、売却額と奨励金が地域に交付されること。」などを伝える工夫をして、市民の行動変容を促してください。	消費生活展等のイベントやチラシを利用し、市の取組を伝えております。今後もいただいたご意見を参考に周知に努めてまいります。

No.	頁	市民から寄せられた意見	市の考え方
9	36	食品ロスの削減の「3010運動」の具体的な説明を記載されると良いと思う。	ご意見のとおり説明を加筆いたします。
10	38	ごみ出しマナーに関する情報発信において、カラス対策のネットの使い方について、一宮市を参考にして、もっと具体的に上手な使い方を示していただきたい。	本市においても、ごみ飛散防止のためのネットやおもりの使い方についてホームページ等に掲載しておりますが、より良い内容を検討いたします。
11	38	(4)ごみ処理施設の整備に関する施策にて、一宮市との広域処理施設整備に関する協議状況などの情報を適宜HPなどで提供してください。	稲沢市ホームページにて適宜情報を更新してまいります。(ページID: 64)
12	38	一宮市に持つて行かなければならなくなるのは困る。	広域化に向け、ごみの搬入方法については一宮市とともに、市民の方の利便性も考慮し、今後協議を進めてまいります。
13	39	ごみ処理の有料化について、ごみを減量した方の努力が報われる制度設計をお願いします。ごみの量に応じて料金を変動制にしている自治体もあります。(ごみを減らせば料金も下がる仕組み)	ごみ処理の有料化については決定している事項ではありません。 有料化検討の際には、いただいたご意見を参考にして検討いたします。
14	42	剪定枝の資源化にてリサイクル率が向上できますので、早期の実現に期待しています。	剪定枝の資源化には専用の処理施設が必要です。施設の導入には多額の費用が必要となり実現は難しいのが実情です。今後は、民間事業者の導入の可能性も模索しながら、最良な方法を検討してまいります。
15	43	ごみ処理に関する市民の役割にてマイバック、マイボトル、リフィル(Refill)などの行動変容につながる市民への啓発もお願いします。	ご意見を参考に、ごみ発生抑制につながる市民の方への情報発信の方法を検討いたします。